

## 東部特別支援学校 伊豆高原分校 ジオ学習 ～城ヶ崎海岸に行こう～

(文責 伊豆高原分校 小川いつ子)

1年生の生活単元学習では「伊豆半島を知ろう」というテーマを設定し、伊豆の観光名所や特産物を学習してきました。その過程で「ジオ」や「ジオパーク」というワードの他、「ジオって何語?」「ジオパークってどこ?」「ジオパークと世界遺産はどう違うの?」という問いが、次々と出てきました。折しも、城ヶ崎海岸への校外学習を数週間後に控えていた生徒たち。このタイミングでジオ学習を行うことは、大変有効であると考えました。そこで、ジオパーク推進協議会に御協力願ひ、出前授業を実施することとなりました。

出前授業では、伊豆半島が噴火を繰り返しながら、南の海から移動して本州に衝突したことを、分かりやすい動画で理解することができました。また伊豆半島の各地で湧き出る温泉は、火山噴火の余熱によるものであることや、天城特産のわさびは、火山の岩を通ったきれいな水の恵みを受けていること、伊東特産のみかんは火山の斜面を利用して栽培されて特産となったことなど、火山がもたらしたものについて皆で考える機会となりました。

学校からよく見える「大室山」の噴火を、溶けたチョコレートで再現した実験では、城ヶ崎海岸の形成過程を視覚的に理解することができました。ジオガイドの方の説明により、城ヶ崎海岸は、溶岩で埋め立てられた部分であることや、学校は、溶岩の上に建っていることが分かりました。そこで、校外学習では、『学校から城ヶ崎海岸までの道が、溶岩でできている証拠を見つけながら行ってみよう。』ということになりました。

校外学習当日。ジオガイドの方から教えていただいた、溶岩だった証拠を見つけるヒント（溶岩は鉄を多く含むため、磁石を引き寄せることや、溶岩の上に堆積した土がまだ少ないので、植物の根が露出していることなど）を頭に入れ、手には、紐をつけた磁石を持って出発しました。目的地までの30分余りの道のりでは、道沿いの石垣に磁石を近づけ、「ついた！溶岩だ！」と声を上げる生徒。街路樹の根が、地上に露出しているのを見つけ、カメラにおさめる生徒。城ヶ崎海岸の、赤と黒の溶岩の違いを友達と確認しながら歩く生徒たち…そこには、目的達成に向けて仲間と共に探求する生徒たちの姿がありました。

出前授業と体験を終えた生徒たちのノートには、「今まで、ただの田舎だと思っていたけど、結構いいところに住んでいることに気づいた。」「わざわざ遠くから沢山の人が観光に来ることを誇りに思うようになった。」などの感想が綴られていました。

ジオガイドの皆さんから教えていただいたことは、単にジオの知識の獲得に留まらず、自分たちの住む地域の良さや魅力を発見・再認識する機会にもなりました。地域理解につながる有意義な時間をいただき、ありがとうございました。



# 新潟県糸魚川市立青海中学校で修学旅行に向けた事前学習を実施

(文責：伊豆半島ジオパーク推進協議会 木村 寛治)

令和4年1月13日(木)に新潟県糸魚川市立青海中学校を訪問し、修学旅行に向けた事前学習会を行ってきました。

同校2年生は本年3月に修学旅行で伊豆半島を訪れるため、修学旅行先の伊豆半島について事前に勉強したいという御要望をいただき本事業が実現しました。

静岡県と新潟県糸魚川市は糸魚川静岡構造線やフォッサマグナを通じて関係があることから、授業の構成として、伊豆半島の成り立ちとフォッサマグナの関係性、伊豆半島が本州に衝突したことで起きた隆起等の様子を実験を交えながら行いました。

また、3月の修学旅行では、伊豆の国市の白鳥山を訪問することから、伊豆半島の学校の授業で普段から行っている片栗粉を使用した柱状節理実験も行いました。今回は、生徒自身で片栗粉と水を混ぜるところから始めたため、仲間と協力しながらできたと思います。

生徒からは、伊豆半島が南の方からやってきたことは知らなかった、早く修学旅行で伊豆に行きたいなどといった嬉しい感想をたくさんいただきました。また、3月の修学旅行の際にお会いできるのが楽しみです。

さて、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、教育旅行(修学旅行・社会科見学)の訪問先が、首都圏から地方へという動きが増えています。今回御紹介した糸魚川の事例もそのひとつです。

そこで、(一社)美しい伊豆創造センターと協働し、ジオパークを活用した教育旅行コンテンツ「伊豆半島ジオパーク教育プログラム」を作成しました。

この教育プログラムの大きな特徴は、右図のとおりアクティブラーニングです。アクティブラーニングとは事前学習からふりかえりまでを行う一連の流れの学習のことを指します。

まず、実地研修(FW)前に、実験を含んだ事前学習を行い知識を深めます。この事前学習を行うことにより、実際に現地を訪れた際の見え方が大きく変わってきます。その後、実際に現地を訪れ、自分の目で確かめます。最後はみなさんで振り返り学習を行うという流れになります。

また、普段、伊豆半島ジオパーク推進協議会が伊豆半島内各学校で行っているジオパーク学習もこのアクティブラーニングを用いています。

ぜひ、未だ実施したことのない学校様におかれましては、補助制度もございますのでよろしく御検討いただきますようお願い申し上げます。



## 【編集後記】

御挨拶が遅くなりましたが、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

近頃は、小中学校のほかに特別支援学校での授業も増えてきました。これも新しくジオパーク学習に取り組む学校が増えたことと嬉しく思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。